



上田よしお 市政報告



発行者:市議会議員上田よしお 住所:大阪府茨木市玉瀬町7番9号 TEL/FAX:072-635-4978 E-mail:u_yoshio2005@yahoo.co.jp

年頭挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます

皆様には健康やかに新春をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

さて、昨年は地方統一選挙や、大阪都構想による住民投票が大阪市で行われ、大阪ダブル選挙(知事・大阪市長)が行われそれぞれの選挙がその時の時勢に反映された結果が出たものと思います。そこで改めて感じたことはとうてい理解できなかったり、裏付け根拠がなかったりしても、心地よい言葉に魅力を感じ選挙の投票行動に繋がっていくものであることを痛切に考えさせられた昨年でありました。

一方、昨年は子どもやお年寄りに対する理解しがい犯罪が多い年であったとも思います。中でも寝屋川市の中1男女殺害事件は現代社会の生活環境の問題を考えさせられた事件として深く印象に残っています。私たちは、勇気をもって子ども達と向き合える地域社会の環境を作りたいと思っております。このような事件を事前に防止するためにも家庭、学校、地域が連携し、子どもたちが安心して遊び・学べる街づくりが不可欠であります。地域支援ネットワークとして防犯組織の推進や自主防災を確立し、安心な街づくりが必要です。それぞれの地域が持っている個性や本来の能力を発揮し、安全・安心な街づくりの整備にお役に立てるよう、今後多くの皆様のご意見をいただきますが市政に活かしていく所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様にとって今年一年がよい年でありませうお祈り申し上げます。
平成二十八年一月

茨木市議会議員

上田よしお(嘉夫)

茨木の newName

昨年の4月に「立命館大学大阪いばらきキャンパス」が開学しました。それに合わせて茨木市が建設した「岩倉防災公園」が多くの子とも連れと市民の皆様で賑わっています。公園内には幼児から子どもたちが遊べる遊具が設置され、自由に使用できます。多い時には200人以上の子ともから大人が楽しく過ごされています。他にも市民も利用できる「立命館いばらきフューチャープラザ」が、キャンパス内にあります。

「フューチャープラザ」は、地域と大学の交流・連携のシンボルとして位置づけられ、市・大学・市民・事業者が自由に集い、互いに情報を共有したり、交流によって新しい文化や事業を育てたりすることを目的に建設されました。またホールや図書館、会議室、レストラン等もあり、勉強会、講演会、発表会など、さまざまな市民活動

増え続ける生活保護世帯

生活保護受給者は全国的に増加し、茨木市でも平成6年から増え続けており、全国と同様の経過をたどっています。(グラフ参照)その原因は、経済情勢の悪化が最も大きな原因であることはもちろんです。その為、茨木市では昨年4月から国の生活困窮者自立支援制度に伴い、生活保護を受給する前に生活の不安を解決する目的の相談体制をとっています。今までは生活保護の受給に至る前の早期支援が難しく、相談者に合った支援ができていない場合もありました。今回の制度は、内容にとらわれず、相談者を幅広く受け入れることができます。ためらわず相談が言っています。と市の福祉政策課長

ができます。ご利用された方からはいろいろな意見があり、喜ばれている反面、苦情もあり、市として改善しなければならぬ事があることを感じ取っております。市民の要望に応えるように行政と調整を行い茨木市の新名所となるようにして行きたいと思っております。



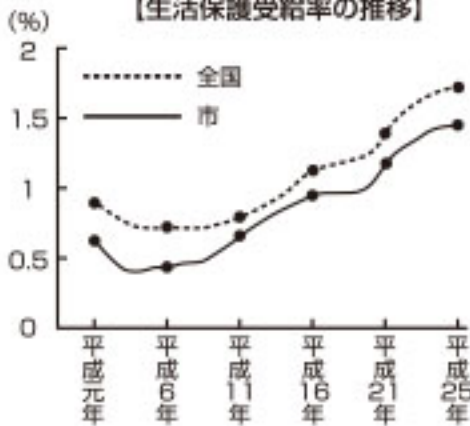
岩倉公園の遊具



防災公園

生活保護費は10年前の平成17年度で約46億円に対し、今年度は70億を超えて税の負担が増えていく一方です。今後は自立支援内容を充実し、より良い制度にして普及できるようにしていきたいと考えています。

【生活保護受給率の推移】



広報いばらき平成27年12月号より

市政報告会

本会議終了後の恒例となっております「上田よしお市政報告会」を昨年も第36回から第40回目まで実施いたしました。毎回地元の方や遠くからわざわざ来ていただき、報告内容についても貴重なご意見やご要望が多くありました。市民の皆様の声をお聞かせいただきたく、毎回充実できるように頑張っていきたいと思っております。今後も続けてまいりますので意見や要望がございましたらこの機会をご利用ください。

またその他にも、月に1回第三土曜日の午後には水尾コミュニティセンターで市民相談会を実施しております。こちらもご利用いただけますようご案内いたします。



第39回市政報告会の様子

議会報告会

議会全体の取り組みとして、第3回目の「議会報告会」を昨年11月10日に茨木市福祉文化会館で行いました。この取り組みは、議会基本条例の、議会及び議員の活動原則、議会運営のあり方等を定めることにより、議会の活性化を図り、市民に分かりやすい開かれた議会を実現し、市民福祉の向上に寄与することを目的とし、市民との関係で議会報告会を行うこととしていきます。第1回目は88名、第2回目は35名、第3回目は39名の参加があり、第1回目から毎回参加していただいた方もいらつしました。貴重なご意見やご要望をその場で頂きましたが、議会報告会では個人の意見を述べる事ができません。今後は議会改革委員会の中で意見調整を行い、

中心市街地の取組JUNSEN

昨年「市街地整備対策特別委員会」と「北部地域整備対策特別委員会」を設置し、それぞれの地域で抱える問題を解決する為議論をしております。私は「市街地整備対策特別委員会」の委員長として活動してきました。市民の皆様から次の様な多くの声をいただきました。中でも、①市民会館の閉館後はどうなるのか ②JR駅前の再開発について ③阪急茨木市駅の周辺の再開発について ④エキスポシティ開業に伴うアクセス道路の渋滞対策について ⑤南地区の農地である目垣・平田・玉島・野々宮地区の開発について等々の事業については、市民の皆様から非常に高い関心を寄せられており、市の計画情報が欲しいと言われています。私は委員会に早く議題として出して議論をして行きたいと思っております。特に市

申し出しているところであります。特に市



平成27年12月末で閉館しました

1969 2015

いばらきの歴史をたどる

ありがとう

ファイナルコンサート

2015.12.26 sat. 14:00 @茨木市市民会館大ホール



昨年の様子

皆様からいただいたご意見やご要望を議会に反映できるように、今後の方向性を見出していきたいと私は考えております。また議会は開催時はいつでも傍聴でき、インターネット中継（録画を含む）でもご覧になることができます。

市民会館の閉館後については立命館のホールの利用状況を見てからの意見もありましたが、早急に議論できる状態に市長提案をするべきと考えています。市の中心地の賑わいに市民会館の場所は重要であることを更に認識しながら計画していきたいと思っております。

伝説五十鈴姫は初代神武天皇の皇后と記す

茨木市五十鈴町にある溝くい神社の境内にその立札があります。全容は以下のとおりです。ご紹介いたします。

溝 咋 神 社

延喜式内の古社であつて、祭神は媛踏ひめたた五十鈴媛命、溝咋玉櫛媛命を主神とし、相殿に三島溝咋耳命、あまのつひのつみ天日方奇日方命、速彥鳴尊、天兒屋根命を祀っている。

日本書記神武天皇の本文には五十鈴姫命は、わが国初代の神武天皇の皇后になられたと記されている。また玉櫛媛の父は三島溝咋耳命であつて、古代において広くこの地方を統裁しておられた方である。

元来、溝みぞというのは水が生命で農業にとって欠くことのできないものである。その溝を構成する杭くわも大切である。

耳とは古代では長ながをあらわす。したがって溝咋耳は農業神を意味した。溝咋耳神がこの地方においていかに信仰されたかは、今日立派な松並木をもった馬場先が残っていることから察せられる。

神社に伝わる「曉の御鏡」は天長年間

(八二四―八三四年)の早かんばつ魃の際に祈雨して、靈験のあったことを伝えている。現在の社殿は、寛保二年(一七四二年)、地元出身の両替商米屋喜兵衛が造営したものといわれている。

茨木市教育委員会



溝くい神社鳥居左横に教育委員会が設置した五十鈴姫の案内板があります

今後の活動予定

市政報告会

- 第41回 平成28年 3月26日(土)
- 第42回 平成28年 6月25日(土)
- 第43回 平成28年10月 1日(土)

いずれも水尾コミュニティセンターで午後2時から予定しております。

市民相談会

- 毎月第3土曜日
- いずれも水尾コミュニティセンターで午後1時30分から午後4時30分まで予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。